

東北関東大震災によるご不便へのお詫びとお願い

関連各位

平成 23 年 3 月 17 日
公益社団法人日本化学会
速報誌編集委員会
編集委員長 檜山爲次郎

平成 23 年 3 月 11 日(金)に起こった東北関東大震災により、大津波が発生し沿岸部を中心に未曾有の大惨事となりました。この災害によって大変多くの尊い命が失われたことに、深く哀悼の意を表します。また、被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。今なお、救助支援を必要とされている方々に安息が一日でも早く戻るよう、心よりお祈り申し上げます。

現在、被災されたと思われる著者・編集委員の皆様の状況確認に尽力しておりますが、震災の影響で通信機能が不十分であり、一部未確認の状態になっています。ご無事をお祈りするとともに、身の安全を確保されましたら、ご無事である旨どうかご一報賜りたくお願い申し上げます。

なお、東北大学、筑波大学、物質・材料研究機構をはじめ、被災地域に位置する多くの研究施設からは甚大な被害が報告されています。この結果、投稿論文の審査がやむを得ず遅延することを懸念しています。可能な限り対応できるよう、事務局は他の編集委員とともに尽力いたしますが、結果としてご迷惑をお掛けすることになるかもしれません。その際には、どうか事情をご理解くださるよう、お願いする次第です。

また *Bulletin of the Chemical Society of Japan* ならびに *Chemistry Letters* は、今回の震災で深刻な被害を受けた仙台の小宮山印刷工業(株)において印刷・編集等の業務を行っておりましたが、この度の災害に伴い、工場・営業所ともに人的被害が少なからず生じ、建物にも損傷を被り、さらに、ライフライン供給不足のため一時的に通常営業を休止せざるを得ない状況にあります。

この結果、4月号以降の Chem. Lett. 発行の遅延、3月号 Chem. Lett. 掲載論文の別刷 (請求書類同封) 作成・出荷の遅れ、掲載論文の Web 先行公開の見送り等、関連各位の皆様には多大なるご不便とご心配をおかけしますこと、心よりお詫び申し上げます。

全力を挙げて被災地域の復興と営業再開に向けて、小宮山印刷工業(株)とともに *Chem. Lett.*編集委員会も取組む覚悟です。業務再開の目途が立ち次第、改めてこの場においてご案内いたします。ご不便・ご迷惑には誠意を持って最大限対応する所存です。誠に残念な事態を招いていますが、状況をご理解くださることを切に願っております。

末筆となりましたが、皆さまの安全と一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。